

① 学校運営の概況

学校教育目標

いのちの源を大切にし、自ら学び、たくましく生きる子供の育成

本年度の重点目標

伝え合い、分かり合い、学びを深める子供の育成

知

よく考え、
進んで学ぶ子供

徳

思いやりのある
やさしい子供

体

健康で
たくましい子供

＜重点目標達成のためのアクションプラン＞

◎自分の考えを
分かりやすく伝え合う

85%



- 相手の思いを受け止め、話をしっかりと聞く
- 難しい問題でも挑戦し、粘り強く取り組む
- 目当てを立てて家庭学習をする（学年×10分間以上）
- 進んで読書をする（10分間×5日以上）

◎相手の気持ちを考えた
言葉かけや行動をする

95%



- 互いの意見を尊重し、励まし助け合う
- 全てのいのちを大切にし、やさしい心で動植物を育て、接する
- 目を合わせて気持ちのよい挨拶をする
- 仲間と協力して掃除をする

◎メディアのルールを守る

ゲーム・動画視聴：下学年 平日1時間以内
上学年 1週間7時間以内 90%



- 「早寝早起き朝ごはん」で、健康な体をつくる
- 危険を予測・判断し、安全に行動する
- 異学年交流を活かして運動や外遊びをする
- 自己ベストを目指して運動に取り組む

② 生徒指導の重点

- ① 教師と児童の信頼関係の構築及び児童相互の好ましい人間関係の育成
- ② 自己有用感を基盤とした自尊感情を育てる場の工夫
- ③ 家庭・地域と連携した生徒指導の推進

③ 研修の計画

研修主題：言語活動を通して、主体的・対話的にコミュニケーションを図ろうとする子供の育成

研修構想：主題解明の視点

視点1 指導計画の工夫

- ・子供の「伝えたい」という気持ちを引き出すような、学校や地域の特色、教科間のつながりを踏まえた単元の年間構想の工夫
- ・付けたい力や単元のゴールの姿を明確にし、1時間ごとのつながりを意識した単元構想の工夫（単元のバックワードデザイン）

視点2 主体的・対話的にコミュニケーションを図るための工夫

- ・自分の考え方や気持ちを伝え合う目的や場面、状況等が明確に示された言語活動の設定
- ・子供が自分の表現をよりよいものにしていくための学習形態の工夫（全体での話し合い、ペア、グループ活動等）
- ・既習表現の定着を図り、子供の表現を豊かにするための支援（Small Talkや掲示物、学習端末の活用等）

視点3 高まりや成長が自覚できる評価の工夫

- ・学びの状況や成果を子供自身が振り返ることのできる自己評価、相互評価の工夫
- ・一人一人の学習状況を把握し、よさや成長を認める指導に生かす教師評価の工夫